

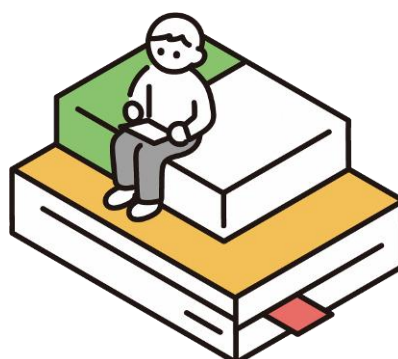
令和7年(2025年)度  
**多摩市公民館 事業報告**

永山公民館 / 関戸公民館



## 目次

施設概要.....	1
事業計画.....	3
事業の記録.....	7
1. 地域・生活課題を考える事業 .....	7
2. 学校・家庭教育支援事業 .....	10
3. 市民・時事問題講座事業 .....	19
4. 地域活性化事業 .....	28
5. 市民文化活動支援事業.....	36
6. 情報発信事業.....	41
7. その他連携等事業 .....	42
管理・運営 .....	53
1. 永山公民館 .....	53
2. 関戸公民館 .....	53



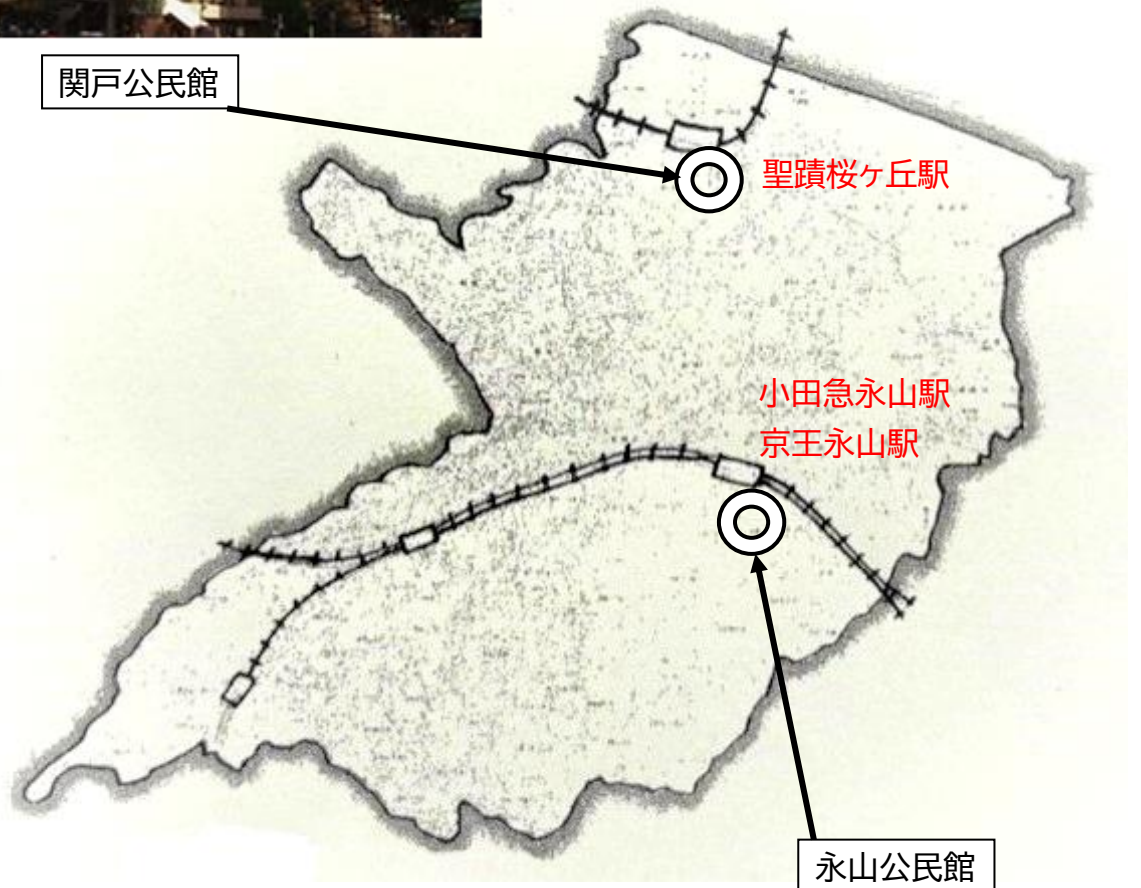
# 1

## 施設概要

※多摩市内には公民館が2館あります



関戸公民館



聖蹟桜ヶ丘駅

小田急永山駅  
京王永山駅

永山公民館



## 1. 多摩市立永山公民館

開 館 平成9年4月1日  
 所 在 地 多摩市永山1-5(永山駅前複合施設「ベルブ永山」内)  
 電 話 042-337-6661  
 敷地面積 4,705㎡(民間部分含む)  
 延床面積 3,761㎡  
 構 造 鉄筋コンクリート造  
 施設内容

多摩市立永山公民館(ベルブ永山内)							
	室 名	面 積	定員		室 名	面 積	定員
5 階	ベルブホール	226㎡	198	4 階	学 習 室	37㎡	20
	第1音楽室	84㎡	45		集 会 室	112㎡	54
	第2音楽室	22㎡	12		創 作 室	56㎡	18
3 階	ギャラリー	100㎡	—		視 聴 覚 室	93㎡	48
		70㎡	32		和 室	20畳	20
	サークル活動室				第1保育室	69㎡	20
					第2保育室	69㎡	20

## 2. 多摩市立関戸公民館

開 館 平成11年9月23日  
 所 在 地 多摩市関戸4-72(ヴィータ・コミュニネ内)  
 電 話 042-374-9711  
 敷地面積 9,003㎡(民間部分含む)  
 延床面積 6,242㎡/6,480㎡(多摩市施設分)  
 構 造 鉄筋鉄骨コンクリート造  
 施設内容

多摩市立関戸公民館(ヴィータ・コミュニネ内)							
	室 名	面 積	定員		室 名	面 積	定員
8 階	ヴィータホール	245㎡	250	7 階	ス タ ジ オ	83㎡	66
	第1学習室	76㎡	48		創 作 室	78㎡	32
	第2学習室	76㎡	48		保 育 室	55㎡	15
	第3学習室	71㎡	40		ギ ャ ラ リ ー	102㎡	—
	和 室 1	16畳	16		ミーティングルーム	51㎡	24
	和 室 2	8畳	8				
	茶 室	49㎡	—				

～公民館は、市民同士が「つどう」「まなぶ」「つながる」ことを促し、  
人づくり・地域づくりにつなげていきます～

令和5年度にスタートした、第六次多摩市総合計画（令和5年11月策定）の分野別めざすまちの姿「地域で学び合い、活動し、交流しているまち」の実現に向けて、少子高齢化や環境問題、多様化する社会状況などの地域課題を踏まえた各種講座の実施や、市民活動への支援などを通じて、幅広く学習の機会や活動の場を提供することで、市民の社会教育活動に取り組んでいく。また、多摩市教育振興プランや多摩市生涯学習推進計画、多摩市学びあい育ちあい推進審議会からの提言「多摩市におけるこれからの社会教育施設のあり方について」（令和4年2月）を踏まえ、自主的な活動を支援しながら継続した学習活動が進められるよう、行政機関をはじめ各関係機関との連携・協働を図り効果的に進めていく。

各事業の展開においては、令和6年度に組織を統合したことから、永山・関戸両公民館の立地環境や地域性を活かしながら事業を実施する。また、誰もが親しみやすい公民館として多くの市民に参加してもらえるよう情報提供のあり方や事業形態など工夫するとともに、地域及び団体や大学等と連携を深め、社会教育の役割を推進していく。また、たま学びテラスで活用したICT機器を活用し、講座などのオンライン配信を継続して実施していく。

さらに令和6年度からスタートした「ひのたまULTLAプログラム（東京都市長会「多摩・島しょ広域連携活動助成事業）」については、引き続き日野市との連携により事業を展開していく。また、本年は戦後80年、昭和100年にあたることから、平和・世情なども意識した事業を企画していく。

### 1. 地域・生活課題を考える事業

地域の課題や、社会・日常生活において自分たちに関連する問題解決の糸口、方向性を見出せるような講座を実施する。

#### (1) 市民企画講座

市民団体から地域、生活課題などを見据えた企画を公募して実施支援し、市民の自主的な学習活動の振興を図り、広く学習の場を提供する。

#### (2) 地域生活講座

地域の拠点施設であるコミュニティセンター等との連携やデジタルデバインド対策などを含む地域や生活課題の解決につながる講座を実施し、人づくり地域づくりにつながる場を提供する。また、地域の課題、人材、学習意欲を掘り起こすきっかけとなるよう講座を企画する。なお、継続した学習から人のつながり、地域の広がりとなるよう実施していたベルブゼミは、本事業に吸収した。

## 2. 学校・家庭教育支援事業

乳幼児から小中学生を対象にした講座や子育て子育てを応援する事業を、学校や地域、市民団体と連携を図りながら実施する。

### (1) 子育て支援講座

子育ての不安、悩みを参加者同士が共有できる場づくりとともに、自分自身の生き方についても考え、継続して学習することを通して、ネットワークを作っていく機会とする。

また、青少年を取り巻く社会的・教育的な問題や課題について学ぶ機会を提供する。

### (2) 保育室開放デー

保育室を開放して、ゆったり過ごせる場を定期的に提供し、乳幼児とその親同士の交流とともに子育てに関する情報や地域の情報などを広く提供する。

### (3) 子育てつどいの広場

コーディネーターが常駐し、安心して集い交流できる場をつくるとともに、市内で活動する団体や保育園などとも連携し、さまざまな情報の提供を含め地域の子育て環境の充実を図る。

### (4) 小学生等体験講座

地域の人材や大学生を講師として、学校や家庭では体験することが難しい専門的な講座や、親子や多世代が交流できる講座を通して、経験や知識・視野を広めるきっかけをつくる。

### (5) 学校や地域と連携した事業

公民館施設を活用したり、イベントなどの場を通じて児童・生徒の学習成果を紹介していく。また、学校のカリキュラムで地域を学ぶ総合教育などに協力していく。

また、市内中学生の職場体験や、事業へのボランティアの受け入れをし、人と接すること、働くことなどを学ぶ機会をつくる。なお希望があった場合は、小学校・中学校のPTA 連絡組織と共催で保護者に対して生活習慣の重要性や子育てに関する知識を学ぶ機会をつくり、家庭の教育力向上を目指す事業を行う。

### (6) 家庭教育学級・家庭教育講座

子どもたちの豊かな心を育成していくために、保護者に対して生活習慣の重要性や子育てに関する知識を学ぶ機会をつくり、家庭の教育力向上を目指す。

## 3. 市民・時事問題講座事業

時事的なテーマや文化・芸術に触れ、生活に潤いがもたらされるような講座、若者を対象とした視点の講座等を実施することで、市民の学習意欲や意識の向上を図り、公民館未利用者層へもアプローチしていく。また、障がい者など多様性を尊重した視点を大切に、人権啓発にも努めていく。

### (1) 障がい者青年教室

障がいがある青年を対象に、余暇の仲間づくりや社会参加への一歩を踏み出すきっかけをつくる。

## (2)市民講座

その時々課題をタイムリーに捉え、さまざまな角度で課題を見つめていく機会を設け、市民の学習意欲の向上を目指す。また、市民生活に身近なテーマを取り上げ、生活・文化の知識を楽しく深めあうことで、地域での豊かな実生活に結びつけていく。

人権の大切さについて学び考える機会になるよう、庁内各課や関係機関と連携して啓発していくことで、誰もが個性と多様性を尊重しながら地域活動や日常生活の中での実践等に結びつけていく。

## (3)地球大学院

環境、貧困、経済・資源など国際的な課題から、地域社会で生起している現象などを市内の大学との連携で開催し、社会とどう関わるかを考える契機とする。

## (4)郷土・伝承文化講座

多摩の古代から現代までの歴史を学ぶことを史跡見学会も含め実施し、郷土を知り、見つめなおす機会とする。また、茶華道等の伝統文化に親しみ、参加者間の交流機会や関戸公民館の茶室の活用拡大も促進する事業を実施する。

## 4. 地域活性化事業

永山駅周辺地区の活性化を図る事業を、公民館、消費生活センター、図書館、及び民間商業施設、市民団体等との協働により実施する。まちの賑わいとともに地域づくりに寄与する。また、聖蹟桜ヶ丘駅前施設としての関戸公民館の周知を図るため、地域団体や市民と連携し、各施設を活用したイベントを開催する。

### (1)永山フェスティバル

令和7年9月開催。第26回目となり、これまでの実績を踏まえつつ、更に地域の発展へつながるような工夫を盛り込み開催。

### (2)VITAふれあいまつり

令和8年2月開催。VITA ふれあいまつりとしては第4回目(旧地域ふれあいフォーラム)となり、地域で活動している団体間のネットワークを構築するとともに、公民館の活動を知り、新たな地域活動へのきっかけを創りだしていく。

### (3)地域イベント協力

永山公民館では「こいのぼり掲揚」「クリスマスイルミネーション点灯」など地域イベントに協力する。また、関戸公民館では「せいせき桜まつり」「朝顔市」などへの協力企画を実施する。

### (4)施設等活用事業

永山公民館では、夏休みなどの長期休業期間中にギャラリーを勉強コーナーとして開放し、青少年等の公民館利用を促進する。また、関戸公民館では、市民ロビーを活用し、市民団体や関係機関と公民館の共同で行う事業や、一定の条件のもと市民団体や近隣団体が主体的に行うコンサートなどの事業を実施し、公民館の賑わいづくりや周知を図る。

## 5. 市民文化活動支援事業

さまざまな分野の文化芸術で、市民が主体となって企画や運営する催しに協力し、広く定着し活動が活発になるよう、市民の実行委員会に会場提供等の支援をする。

### (1) サロンライトコンサート

公民館主催で、出演者を公募形式で募集し、クラシックやジャズ、邦楽などさまざまな分野のコンサートを月1回開催し、身近な場所で音楽に親しみ気軽に楽しんでいただく機会とする。

### (2) TAMA シネマフォーラム

令和7年11月開催(ほか、随時上映会を年間を通して開催)。今年度は35回の節目を迎える。

### (3) 演劇フェスティバル

演劇フェスティバルは実行委員会により年間を通じて開催されている。市民に観劇の機会を提供すると共に、実行委員会・劇団への会場提供、舞台制作、広報活動支援により演劇が地域に根付くことを目指す。

### (4) ヴィータ・コンサート

ヴィータ・マンスリーコンサートは令和6年度から隔月開催とし、ヴィータ・コンサートと改名。企画・運営は実行委員会が行い、出演者を公募・推薦形式で選定する。さまざまなジャンルのコンサートを開催することで、市民に身近な施設で音楽に親しんでいただく機会を提供する。

### (5) What's Jazz

実行委員会がプロのジャズミュージシャンを招聘して、有料でのライブコンサートをヴィータホールで年4回開催する。

## 6. 情報発信事業

市民の交流を図る公民館通信の発行で、社会教育団体の活動や公民館事業、地域での取り組みなどを紹介し、公民館未利用者層を含め新たな活動に誘うとともに、さまざまな情報媒体を通して情報を発信、提供していく。

### (1) 公民館通信「たのしいまち」の発行

### (2) 広報・ホームページなどでの情報提供

### (3) サークル紹介カードの掲示

## 7. その他連携等事業

令和3年度から3年間、東京都市長会の「多摩・島しょ広域連携活動助成事業」を受け、日野市と多摩市の事業連携を行った実績を踏まえ、令和6年度からは新たに「ひのたま ULTLA プログラム(学校生活になじめない児童生徒を対象とした多様な学びの場づくり)」を開始。引き続き連携をすすめる。また、東京都やさまざまな団体・機関と連携し、市民の学びを拡大する事業を実施するとともに、民間事業者提案型事業を試行実施する。

# 3

## 事業の記録

### 1. 地域・生活課題を考える事業

#### 市民企画講座

■ 目的 市民団体から、地域・生活課題等の企画を募集し、自主的な学習活動の促進を図り、広く学習の機会を提供する。

■ 内容 以下講座一覧参照

#### 【講座一覧】

団体名 / テーマ	内 容 / 講 師	回数	参加者数
グリーフサポートたま/ 『死別の悲しみとグリーフ ケア～喪失から始まる道 程～』	① グリーフとは何か ② 死別の悲しみとグリーフケア ③ 自死と自死遺族のグリーフについて ④ グリーフ及びグリーフケアの学びを実践している人々の活 動紹介  【講師】 笥 智子 氏(グリーフサポートたま代表)	4回	延べ44人
スポーツウエルネス吹矢/ 『スポーツウエルネス吹矢 入門講座② 一フレイル 予防とストレス発散を！ 一』	①スポーツウエルネス吹矢の概要と健康 ②スポーツウエルネス吹矢式呼吸法を学ぶ ③基本動作の意識と大切さ ④生涯スポーツとしての取り組み方  【講師】 日本スポーツウエルネス吹矢多摩市中央支部(上級)公 認指導員 ほか	4回	延べ48人
なかま”萌”/『大切な気 持ちを言葉にできていま すか～自分も相手も大事 するアサーティブ～』	① 出会い(エンカウンター) ②～④ロールプレイ ⑤まとめ  【講師】 小柳 茂子 氏(臨床心理士、相模女子大学名誉教授)	5回	延べ69人
ボランティアサークル「絵 手紙くるくる」/『絵手紙 講習会』	①絵手紙って何? ②季節の花色々 ③実りの秋書いてみよう ④年賀状 祝い箸袋  【講師】 小谷 陽子 氏(日本絵手紙協会公認講師)	4回	延べ23人
自立ステーションつばき/ 『しょうがいがあっても共 に学び、遊び、生きる～イ ンクルーシブ社会の実現 に向けて～』	①映画『養護学校はあかんねん!』上映会 ②地域で生きる女性障害者と人権～旧優生保護法との闘い～ ③人生を一本の幹に!～兵庫県西宮市での取り組み ④能登半島地震から学ぶ防災～しょうがいしゃ支援の課題～ ⑤多摩市差別解消条例の取り組みとこれから～しょうがい当事	5回	延べ290人

	<p>者からのメッセージ～</p> <p>-----</p> <p>【講師】</p> <p>①長谷川 律子 氏(障害児を普通学校へ・全国連絡会 代表)</p> <p>②堤 愛子 氏(自立生活センター 町田ヒューマンネットワーク 副理事長)</p> <p>③鍛冶 克哉 氏(自立生活センター メインストリーム協会)</p> <p>④大野 健志 氏(社会福祉法人さくらんぼの会理事)</p> <p>⑤並川 正 氏(多摩市聴覚障害者協会会長)ほか</p>		
<p>多摩市の図書館とともに 育てる会/『図書館は持 ち寄り・見つけ・分け合う 広場～市民の自治を育て る公共図書館を目指して ～</p>	<p>講演会『「市民のための図書館」を目指すために、図書館と市民 の役割を考える』</p> <p>-----</p> <p>【講師】 嶋田 学 氏(京都橘大学文学部歴史遺産学科教授)</p>	1回	49人

- **まとめ** 今年度は計6団体から申込があり、ヒアリングを経て6団体すべて承認し実施した。各団体の特色・持ち味・専門性を生かした講座がそれぞれ展開され、各団体の自主的な学習の支援をすることができた。

各講座において参加者からは「市民自治をはぐくむ場としての図書館の可能性について学べた」「生きる力を頂いたように感じる事ができた」「毎回学び気づきが山ほどあった講座でした。」などの感想があり、団体の学習活動の支援に留まらず、同時に参加者の新たな学びや気づきにつなげられたことが感想から伺える。

次年度以降は連続申請の上限を下げて実施し、より多様な団体が申請しやすくなるよう改善を続けていく。

#### 地域生活講座「むかしの道と歴史を歩こう！&多摩の歴史はこんなに面白い！」

- **目的** これまで地域・生活の課題を解決するため、地域施設、関係機関と公民館とが協力し、地域に横たわる課題を見出し、共有し、住民とともに考えていく場として開催してきた。

今年度は公民館単独で企画する。関戸公民館を拠点として活動する街歩きサークルや歴史サークルは現在ほぼ確認できないため、歴史をキーワードに地域住民のつながりを創出する。

- **日時** ① 令和8年3月17日(火)10:00～12:15(お手洗い休憩含む)

② 令和8年3月17日(火)13:30～15:00

■ 場 所 ① 聖蹟桜ヶ丘・一ノ宮周辺

② 関戸公民館 創作室

■ 内 容 ① 『むかしの道と歴史を歩こう！(現地探索ウォーク。午前中)』

聖蹟桜ヶ丘駅西口交番前に午前10時集合～古代街道「奥州古道」と「関戸の渡し道」～大栗橋と鎌倉街道入口～九頭竜神社～霞ノ関橋～戦国時代の有山屋敷跡～古川崎街道～小野神社～一ノ宮の渡し場跡～聖蹟桜ヶ丘。

② 『多摩の歴史はこんなに面白い！(お話し会。午後)』

古代から街道が集まっていた歴史のまち・聖蹟桜ヶ丘と多摩丘陵の12古街道の魅力

■ 講 師 講師:宮田 太郎 氏(株式会社歴史シアター・ジャパン代表取締役、歴史古道研究家)

■ 対 象 どなたでも

■ 人 数 午前 29 人、午後 28 人

■ 費 用 なし

■ まとめ 歴史が好きな方、街歩きが好きな方、転入してきて地域の歴史を知りたい方など、多くの市民に興味をもって参加いただけた。座学だけでなく、実際に地域を見て回ることで、普段何気なく歩いていた街も多くの発見・興味関心の場となることがわかり、参加者全員が更に学習したい、学びを深めたいという感想を持った。



# 3

## 事業の記録

### 2. 学校・家庭教育支援事業

#### 子育て支援講座

- 目的 日頃子育てに追われて過ごしている主に育児休暇中の母親や父親を対象に、(1) 少し子育てから離れて自分と向き合う“自分時間”の提供、(2) 子育てに対する不安や悩みを相談できるつながりづくり(3) 子育てについての知識を得られる機会の創出を目的とし、一部保育付きでイベントを2回開催する。  
なお、保育の対象とならない1歳未満のお子さんと一緒に過ごしながら受けられる環境及び内容とする。
- 日時 ① 令和7年10月18日(土)10:00～11:45  
② 令和7年11月29日(土)10:00～11:30
- 場所 ① 永山公民館 視聴覚室 / (保育)第二保育室  
② 関戸公民会 大会議室 / (子ども向けアクティビティ)スタジオ
- 内容 ① 子どもの主体性を引き出す 習い事とは？(幼児教育)～好奇心を観察することの重要性～  
② スポーツ、勉強などに向けたメンタルトレーニングと親の声掛け
- 講師 ① 高岡 純子 氏(ベネッセ教育総合研究所 教育スペシャリスト)  
② 秋葉 茂季 氏(国土館大学 准教授) / ゼミ学生協力
- 対象 主に乳幼児～小学生の子を持つ母親・父親(市内在住・在勤優先)
- 人数 ① 14人(大人8人、ベビー3人、保育3人)  
② 24人(大人15人、子ども[アクティビティ参加]6人、ベビー1人、保育2人)
- 費用 無料
- まとめ 講座を受け、家庭内で子どもをよく観察するなど、今までよりも細やかに、子の健やかな育ちをサポートしようと思った人数 6割以上→アンケートより、「勉強になった」「今後の生活に生かしたい」という声が9割以上であった。満足度も9割以上となっており、講座を受けたことで自身の子育てを肯定的に捉えるきっかけとなったと考える。

①幼児教育



②メンタルトレーニング



## 親子で楽しむ0歳からのクラシック

- 目的 乳幼児と保護者を対象にヴァイオリンとピアノによるコンサートを開催。生の音楽に触れることによりこどもの情操を養うこと、また、子育て中の保護者にリフレッシュの時間を提供することを目的として実施する。
- 日時 令和8年2月18日(水)10:00～11:45
- 場所 永山公民館 ベルブホール
- 内容 生まれてきてくれてありがとう!“ハッピーバースデー”をテーマにプログラムを構成した。  
<演奏曲>
  - ・ハッピーバースデー
  - ・愛の挨拶
  - ・チャルダッシュ 他
- 出演者 城所 素雅 氏(ヴァイオリン)、中川 さおり 氏(ピアノ)
- 対象 0～6 歳児とその保護者
- 人数 132 人(大人 69 人、子ども 63 人)
- 費用 無料
- まとめ 泣いても立ち歩いても OK、常時扉を開放、途中の入退場も自由とし、親子で気兼ねなく音楽を楽しめる雰囲気づくりに努めた。また、昨年度同様、途中にリトミックタイムを設け、小さな子どもが飽きずに楽しめる構成とした。出演者の好感度も高く、アンケートの結果では、参加者の満足度の高さがうかがえた。



## 保育室開放デー

- 目的 通常はサークル・団体での利用に限定される保育室を、広く子育て中の親子に利用いただくことにより、子育て中の方々が出会い、互いの交流を図れる場を提供することを目的とする。

### <永山公民館>

- 日時 ○【開放デー（全12回）】毎月第3月曜日 10:00～16:00  
(7月、9月は第2月曜日に実施)  
○【ミニイベント】10月1日
- 場所 永山公民館第1・第2保育室
- 対象 未就学児と保護者
- 人数 延べ130人
- 費用 無料
- まとめ 乳幼児の親子に対して広いスペースで自由に安全に遊べる場を提供するとともに、子育て世代同士の語らいの場、仲間作りのきっかけの場ともなるべく開催した。また、乳幼児子育て世代が楽しみ、子育てが孤立する孤育てにならないよう工夫した企画として、音楽人形劇のミニイベントを開催した。こうした企画で親子に生の音楽やお話の世界の豊かさを感じてもらい、日々の生活の中でも親子の対話が楽しめるような催しとなった。



### <関戸公民館>

- 日時 【開放デー（全28回）】毎月第1・3水曜日 10:00～16:00  
(7月、8月は毎週実施)  
【おはなし会（全12回）】毎月第1水曜日
- 場所 関戸公民館保育室
- 対象 未就学児と保護者
- 人数 延べ293人(うちおはなし会 57人)
- 費用 無料

- **まとめ** 乳幼児の親子が広いスペースで自由に安全に遊べる場を提供するとともに、子育て世代同士の語らいの場、友人作りのきっかけの場となるよう実施した。毎月第1水曜日には地域の読み聞かせボランティアによる「あかちゃんおはなし会」を開催した。本の選定は関戸図書館に行ってもらい、それを読み聞かせボランティアに読んでもらった。季節の絵本や子どもを惹きつける内容の絵本も多く、親子で楽しく過ごせる時間を提供できた。



### 子育てつどいの広場『ピーかぶー』

- **目的** コーディネーターが常駐し、安心して集い交流できる場をつくとともに、市内で活動する団体や保育園などとも連携し、さまざまな情報の提供を含め地域の子育て環境の充実を図る。
- **日時** 原則 第2・4木曜日 10:00～16:00 全24回
- **場所** 永山公民館第1・第2保育室
- **対象** 0歳から6歳のお子さんと保護者
- **人数** 延べ293組 661人（大人326人、子ども335人）
- **費用** 無料
- **まとめ** 2人以上のコーディネーターが常駐し、親子の安全を見守りながら参加者同士をスムーズに結びつけるよう働きかけ、子育てサポーター的役割を担った。感染症対策として会場の衛生管理を行い、安心して集える場づくりを行った。ミニイベントの開催を通して、来場のきっかけづくりや親子の豊かな時間を提供、来場者の交流の場づくりを行った。



## 小学生等体験講座

■ 目的 子どもたちの創造性や知的好奇心、意欲を育むきっかけとなることを目的とし、学校とは異なる場の中で、様々な児童、大人と関わる事により視野を広めることを期待し実施する。

■ 日時 ○夏休み小学校体験講座

① 令和7年7月31日(木) 14:00~16:00

② 令和7年8月1日(金) 9:30~11:30

③ 令和7年8月4日(月) 10:00~11:30

④ 令和7年8月4日(月) 13:30~15:30

⑤ 令和7年8月18日(月) 13:30~15:30

⑥ 令和7年8月20日(水) 13:30~15:30

○春休み小学校体験講座

令和8年3月28日(土) 13:30~15:30

■ 内容 下表参照。

### <夏休み小学生体験講座>

	内 容	参加者数	対象	参加費
①	親子で手ごねパンづくり	消費生活センター 調理室	小学1・2年生+その親	200円
②	たのしい水彩画教室	関戸公民館 創作室	小学生(1・2年生は要 保護者同伴)	無料
③	名人から教わるおしゃれな絵手紙	消費生活センター 講座室		150円
④	テレビ番組の舞台裏～アナウンサー 体験もしてみよう!～	永山公民館 ヘルプホール		無料
⑤	東大 CAST のサイエンスショー～ 電気の方と音にひそむナゾ～	永山公民館 ヘルプホール	小学4～6年生	300円
⑥	東大 CAST のサイエンスショー～ 光と空気にひそむナゾ～	関戸公民館 ヴィータホール		300円

### <春休み小学生体験講座>

	内 容	参加者数	対象	参加費
⑦	春休みパパ子クッキング	消費生活センター 調理室	小学生とその父親	1300円

■ 講師 ① 鈴木 真利子 氏(まりこの小さなお菓子教室 主宰)

② 瀬尾 理恵 氏(こどものアトリエ\*キッズアート)

③ 小谷 陽子 氏(絵手紙「陽だまり」 主宰)

④ 田邊 美樹 氏(株式会社テレビ朝日 広報部 お客様フロント部)

⑤⑥ 東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST

⑦ 中屋 優花 氏(料理教室 Y's キッチン・サルーテ主宰)

■ 人数 ①21人(子10人、親10人、乳児1人)

- ②34人(子24人、一緒に体験した親3人、見学の親7人)
- ③16人(うち2名は保護者)
- ④34人(子22人、見学の保護者等12名)
- ⑤44人(子30人、見学の保護者等14名)
- ⑥50人(子36人、見学の保護者等14名)
- ⑦18人

■ まとめ <夏休み小学生体験講座>

今年度は①～③の講座を新しく企画。講師を市内で探し実施した。全ての講座は非常に好評であり、①～③は早期に定員満員となった。また、親も参加し手を動かしたことで、育児や家事に追われる親にとっても日常では得られない体験・学びを提供でき、また子どもの講座へ申し込むことから公民館という場所を知ってもらう機会となった。

効果・成果として「講座の内容をもっとやってみたい、学んでみたい」と思う人数が全ての講座で6割を超えていた。(パン:80%、水彩:86%、絵手紙:75%、永山CAST:64%、関戸CAST:72%)今後、家庭において学びが継続できるよう、講座を通じそのきっかけを与えることができた。

<春休み小学生体験講座>

パパ子クッキングは父親応援として企画し、実際に妻に背中を押されて参加した方が多数であった。料理経験も未経験の方が揃う中、他の参加者と役割分担するなど、親子の繋がりだけでなく親同士・子同士のコミュニケーションの場としても機能した。子どものうち7組は低学年であり、「子に料理体験をさせたい」というニーズも伺えた。



← ↑ 夏休み小学校体験講座

↓ 春休み小学校体験講座



## 学校や地域と連携した事業

### <職場体験の受け入れ事業「未来を拓く職場体験」>

- 目的 持続可能な社会づくりに向けた人づくりに寄与するために「多様な市民の学習や活動を支援する公共の拠点施設」として「将来の社会人」である中学生を受け入れる。
- 日時 令和7年9月～令和8年1月の間、随時
- 場所 永山公民館、関戸公民館
- 対象 永山公民館(鶴牧・諏訪・聖ヶ丘の各中学校)、関戸公民館(多摩・落合・鶴牧の各中学校)
- 人数 延べ8人
- まとめ 公民館に関する基礎知識をレクチャー後公民館窓口に立ち、利用団体をはじめとする市民の方々への対応等を経験してもらうとともに、施設管理に関する説明、ホール舞台機構の説明や操作体験、事業準備なども経験してもらった。施設の運営にはこのような業務が重要であることを理解してもらうことで、将来の方向性を考える際の一つのヒントとなるよう今後も受け入れを継続していく。

### <多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校探究授業への協力>

多摩市が子ども・若者の活躍を支援する視点で協力している多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校探究授業(高校1年・2年)の「探究ゼミ(公民館ゼミ)」に、探究アドバイザーとして公民館も協力している。公民館の活用拡大につながるフィールドワークや、実際の事業企画・実施に助言・協力を通年で行い、学習活動を支援した。

### <都立永山高校探究授業への協力>

都立永山高等学校では、1学年の「総合的な探究の時間」において、地域社会の課題を発見し、その課題の解決する方策を考え調査し、企画書を作る探究活動を実施している。複数のテーマがある中で、多摩市公民館は「生涯学習」のテーマについて、具体的課題の提示、公民館に関する紹介・事前講義、関係資料の提供、生徒の企画書に対する指導・助言などを行い、学校での学習活動を支援した。

この他、同校1年生のインターンシップの受け入れ、2年生の展示企画について施設の貸出及び企画に関する助言を行った。

## 家庭教育学級・家庭教育講座・薬物乱用防止講座

■ 目的 子どもたちの豊かな心を育成していくために、保護者や子ども達に対して生活習慣の重要性や子育てに関する知識等を学ぶ機会をつくり、家庭の教育力向上を目指す。また、薬物乱用行為の危険性について学習する機会として主に中学生を対象に同講座を実施する。

■ 日時 令和7年4月～令和8年3月

■ 内容 下表のとおり

### <家庭教育学級>

	日時	内容	講師	参加者数
1	7月17日(木) すみれ幼稚園	子どもの未来を拓く賢いからだ	大蔵 宏基 氏(歯科医師)	7人
2	9月9日(火) 多摩第二小学校	ちがいても同じも真ん中に！～ しょうがいて何だろう～	長野 僚 氏 (団体 Try chance 代表)	115人
3	10月3日(金) 豊ヶ丘小学校	カムカム授業 ～よく噛むこと の大切さ～	坂ノ下 典正 氏(株式会社ロッテ広報部噛むことPR課 課長)	241人
4	1月24日(土) 永山小学校	家庭でもできる道德教育	藤澤 美智子 氏(帝京大学 教授)	19人

### <家庭教育講座>

	日時	内容	講師	参加者数
1	12月3日(水) NPO 法人子育て応援団 そらいろのたね	冬を元気に♪幼児食 食育 講座	中屋 優花 氏(料理教室 Y'sキ ッチン・サルテー主宰)	18人
2	1月17日(土) NPO 法人子育て応援団 そらいろのたね	親子で学ぶ おうち性教育は じめよう	土屋 麻由美 氏(助産師)	26人
3	2月14日(土) 諏訪児童館			19人
4	2月21日(土) 一ノ宮児童館	(父親対象)幼児のための救 急救命講座	吉田 憲史 氏(日本救急医学会 ICLS インストラクター)	17人
5	3月7日(土) 唐木田児童館			12人

<薬物乱用防止講座>

	日時	内容	講師	参加者数
1	3月12日(木) 諏訪中学校3年生 及び保護者・教員・ 地域住民	(1) 前半:スライドによる説明 後半:DVD上映 「STOP!薬物乱用～断る勇気～」 (2) 薬物パネルや標本の見学、DVD 上映 「STOP!!薬物乱用(小学生向け動画)」	多摩中央警察 防犯少年係長	89人

■ 費用 無料

- まとめ
- ①幼稚園・保育園1園、小学校3校による開催。  
学校公開、保護者会の機会に開催することで生徒、保護者、教職員、地域の方などへ家庭協力
  - ②NPO2回、児童館3回の開催。
  - ③令和7年度は1校、合計89名の生徒と教師に対し、薬物乱用の危険性や薬物乱用をしないために気を付けるべき行動などを学ぶ機会の創出につながった。多摩中央警察職員による講義、標本の見学、スクールサポーター(警察OB)の質問対応、研修用動画の視聴など、薬物乱用防止に対する知識をつけることができた。

# 3

## 事業の記録

### 3. 市民・時事問題講座事業

#### 市民講座

##### やわらか音楽講座

- 目的 ピアノによる生演奏と解説を交えた講座を開催。市民の一般教養向上を目的とし、レクチャーを含めた講座を実施する。
- 日時 ①令和7年8月16日(土)14:00～16:00  
②令和8年2月7日(土)14:00～16:00
- 場所 永山公民館ベルブホール
- 内容 ①【音楽のプラネタリウム】テーマ = 星、宇宙 /13 曲  
②【花と音楽】 テーマ = 花 /13 曲
- 講師 風呂本 佳苗 氏(ピアニスト、NHKカルチャーセンター講師)
- 対象 市民一般(未就学児不可)
- 人数 ①151人 ②72人 計223人
- 費用 無料
- まとめ クラシックの枠にとどまらず幅広いジャンルから選曲、個性的なプログラムを提供した。楽しかった、という感想はもとより、作曲家の人となり、曲に込められた想い、文化、時代背景についての丁寧で解り易い解説に、参加者の満足度もおしなべて高く、受講者の知的好奇心にも応える講座となったと考える。



【昭和100年・戦後80年 特別企画】

朗読劇『手紙』 ～“読み語り”でたどる戦後の昭和～

---

- 目的 市内で大人の朗読活動や子どもの読み語りなどの活動を積極的に進めている市民グループと連携し、戦争末期～高度経済成長期を舞台にした文学作品の朗読劇を実施する。  
また、朗読劇には昭和～平成～令和とテレビ・映画など多方面で活躍している名優、浜田晃氏を招き公演を行うとともに、アフタートークとして、長年の俳優活動の経験を語っていただき、昭和と令和の社会風土の違いについて感じ取り、令和時代の自分自身の在り方について考える一助となる講座を実施する。
- 日時 令和7年12月14日(日) 14:00～16:10
- 場所 関戸公民館 ヴィータホール
- 内容 (1)朗読公演「手紙 届かなかったラブレター」／作:得丸伸二(文学座)  
出演(朗読):浜田晃 物集女  
(2)浜田晃氏・物集女氏 アフタートーク  
(トークテーマ)
  - ・朗読劇「手紙」という作品と出会ったきっかけ・作品に対する印象
  - ・舞台俳優からテレビ・映画の世界での活動が増えたきっかけ
  - ・俳優という仕事の中で印象に残っていること
  - ・長い間俳優業を続けてこられている秘訣・支えられている言葉
  - ・朗読を始めたきっかけ・朗読の魅力
  - ・お二人が感じている『言葉の力』など
- 出演 浜田 晃 氏(俳優)・物集女 氏(読み語り『物集女』主宰)
- 対象 一般(未就学児不可)
- 人数 96人
- 費用 無料
- まとめ 「自分の生きてきた道と重ねることができました」「今思い悩む中で参考になる事がありました。自分自身を大切に生きていきたいと思いました。」などの感想が見られ、公演とアフタートークの中で自身の人生と重ねながら、様々な気づきを得る機会につながったと考えられる。

## 地球大学院

- 目的 現代社会における変化は加速度的に進んでおり、それによって生じる、経済・文化・福祉などを取り巻く課題がより複雑化・多様化している。そのような社会において、市民の自己実現を支えるためには、様々な分野に関する学びの機会を確保していくことが重要である。

そこで、多摩市内にキャンパスを置く 6 大学(大妻女子大学、多摩大学、恵泉女学園大学、国土館大学、東京医療学院大学、桜美林大学)にご協力いただき、それぞれの大学の特性を活かした専門性の高い講座を提供することにより、市民の多様な学びの機会を保障し、自己実現に寄与することを目指す。また、講座はオンラインでの受講が可能とする。

- 場所 関戸公民館 大会議室:10月1日(水)、10月3日(金)、11月22日(土)  
永山公民館 集会室:11月5日(水)、11月7日(金)、11月19日(水)
- 内容 下表のとおり

	日時	講座名	講師
第1回	10月1日(水) 14:00~16:00	戦後～近年に発生した災害における救助活動の変遷	都 城治 氏 (国土館大学 講師)
第2回	10月3日(金) 14:00~16:00	駐留軍の家族が経験した戦後 80 年の見解	安田 震一 氏 (多摩大学 特任教授)
第3回	11月5日(水) 14:00~16:00	アニマルセラピーとは何か?—人と動物のよりよい共生を目指して	八城 薫 氏 (大妻女子大学 教授)
第4回	11月7日(金) 14:00~16:00	戦後 80 年、航空の安全と人間	堤 正行 氏 (桜美林大学 教授)
第5回	11月19日(水) 14:00~16:00	昭和 100 年(戦後 80 年)のいま考える運動の重要性	川井 謙太郎 氏 (東京医療学院大学 准教授)
第6回	11月22日(土) 14:00~16:00	「なぜ韓国の大統領は罷免されたのか?—戒厳令から見える韓国社会のいま」	ホ ミョン 許 美善 氏 (大東文化大学 非常勤講師)

- 対象 多摩市民及び日野市民(日野市・多摩市連携事業)
- 人数 84 名(会場受講:70 名、オンライン受講:14 名)
- 費用 無料
- まとめ 会場での対面受講と Zoom ウェビナーを用いたオンライン配信を同時に行ったが、若年層にとどまらず高齢者にもオンライン受講が浸透していた。受講後に実施したアンケートによると、講座の内容に対する満足度は 9 割を超えたほか、約 7 割弱が、講座の内容について「より深く学びたい」と答えており、受講者が自ら学びを深める行動を促すきっかけづくりに寄与した。



## 郷土・伝承文化講座

### はじめての茶の湯

- 目的 接する機会が少なく、敬遠しがちな「茶の湯」を気軽に体験することで、「茶の湯」をより身近に感じ、関心を持つ市民を増やすとともに、当館の「茶室」を周知し、有効利用を促すことを目的として実施する。また、講座終了後は、当館で開催されている多摩市茶道連盟主催の「月釜」へ繋げることで、継続的に「茶道」に触れる機会を提供する機会の提供とする。
- 日時 ①令和8年2月21日(土) ②令和8年2月28日(土)  
いずれも 10:00~12:00
- 場所 関戸公民館 和室・茶室
- 内容 ①茶の湯について 講座形式で茶の湯に関する講演を実施。  
②お茶会体験 多摩市茶道連盟講師指導の下、実際にミニ茶会を体験。(7人×2グループで実施)
- 講師 多摩市茶道連盟会長及び会員(計7人)
- 対象 どなたでも(但し、高校生以上の茶道経験のない方を優先とする)
- 人数 12人
- 費用 無料
- まとめ 初参加者対象にしているが毎回定員に達しており興味がある方の需要が高いと考える。茶の湯の歴史、流派について、茶菓子の種類、お茶をたてる指導、茶室見学の際の説明など短時間の中で効率よく講座を運営していただいた。



## 地域の自然を知ろう ― 冬の多摩川で野鳥観察

- 目的 本観察会では、講師に双眼鏡や望遠鏡を使って、冬の多摩川で観察できる 30 種以上の鳥を幅広く紹介してもらい、鳥たちが見せる生態や行動を自分の目で観察する体験から、自然の迫力や生命の営みを直接感じる機会を提供する。こうした体験が新たな気づきを生み、地域への愛着を深め、さらに地域の自然を守る意識改革や行動変容につながることを期待するものである。  
また、シベリアから遠く渡来する渡り鳥の生態や、多摩川に集まる鳥たちが「国境をこえた生物のネットワーク」を担っている事も紹介していただき、地域の自然と世界とのつながりについても理解を深める機会とする。
- 日時 令和 8 年 2 月 15 日(日) 9:00~12:00
- 場所 一ノ宮公園から大栗川合流点
- 内容 ・観察対象の鳥〔カモ類(マガモ、コガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、ヨシガモ等)、猛禽類(オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウ等)、小鳥類(ツグミ、ジョウビタキ等)、その他留鳥の水鳥(カワセミ、サギ類など)〕  
・双眼鏡・望遠鏡の使い方、野鳥の識別ポイント、渡り鳥の生態(シベリアから渡来する種など)、生物の国境をこえたつながりと多摩川の役割
- 講師 渡辺 仁 氏(NPO東京生物多様性センター代表理事)
- 対象 小学生以上の市内在住者(親子参加可)
- 人数 18 人
- 費用 無料
- まとめ 当初予定していた日に降雪予報が出たため、翌週に延期。このことにより、予定が合わず一部キャンセルが出てしまったものの、当日は約 40 種類もの野鳥を観察することができ、参加者は時間の中でじっくりと講師の話を聞きながら野鳥観察を行うことができた。



## 障がい者青年教室

- 目的 主に軽度の知的障がいがある青年たちの余暇活動の場として開催。創作・文化活動、スポーツ、野外活動等を通して、障がいがある方たちがボランティアと楽しく交流していく中で、他者との関わりや自立する力、お互いを認め合う共生の心などを学ぶ機会とする。
- 日時 令和7年5月25日(日)、6月22日(日)、7月27日(日)、9月7日(日)、10月19日(日)、11月16日(日)、12月21日(日)、令和8年3月8日(日)
- 場所 永山公民館(集会室・ベルブホール)、多摩中央公園及び旧富澤家など
- 内容

日時	内容
5月25日(日)	始業式(今年度の活動についての話し合い、お楽しみ会)
6月22日(日)	創作活動(新聞紙アート、和紙絞り染めアート) 多摩市障がい者美術作品展への出品を目標に作品を制作
7月27日(日)	
9月7日(日)	
10月19日(日)	
11月16日(日)	戸外活動(多摩中央公園散策)
12月21日(日)	クリスマス会(お楽しみ会・プレゼント交換)
2月8日(日) (中止)	スポーツ大会 ※雪を伴う悪天候のため中止
3月8日(日)	終業式(伝承折り紙・午の作成、ギャラリー作品展鑑賞、お楽しみ会)

- 講師 鈴木 美耶子 氏(青年教室ボランティア、元美術教師)、ベルブ・プラス・バンド、Forever(バンド)
- 対象 年度当初で18歳以上の障がい者(市内在住・在学・在勤)
- 人数 青年133人、ボランティア65人
- 費用 無料
- まとめ 創作活動・戸外活動・お楽しみ会などを実施し、参加している青年同士の余暇活動のサポートをボランティアの協力を得ながら行った。特に創作活動では自由な発想で臨んでおり、自己表現できる場を今後も提供し続ける必要があると感じている。  
一方、参加者の固定化・高年齢化、ボランティアの減少・高齢化が重要な課題となっており、青年・ボランティアともにたま広報等で新規募集を行いながら、他市の類似事業なども参考に課題解決に向け検討を進めていきたい。



### スマートフォン関連事業

- 目的 令和2年度からデジタル活用技術の習得を促し、技術格差の解消を目的に、主に高齢者を対象とした講座を実施しており、令和7年度も以下3つの事業を行った。また、東京都の取り組みとして、行政手続きのデジタル化の推進と共に、誰一人取り残すことのないデジタル社会の形成を目的とした「東京都事業 高齢者スマートフォン普及啓発事業」であるスマホ相談会も共催事業として継続して実施している。

#### ①(初心者向け個別サポート)スマホサロン～スマホでつながる 遠くの家族と近くの友達～

- 日時 令和7年4月18日(金)、6月20日(金)、8月15日(金)、10月17日(金)、12月19日(金)、令和8年2月20日(金)  
各日 14:00～16:00
- 場所 関戸公民館 創作室
- 内容 市民を対象としたスマホの基本操作について学び、個別サポート
- 講師 パソコンボランティア多摩、帝京大学ボランティアサークルあめんぼ～ず、市民ボランティア
- 対象 スマートフォンの基本操作を学びたい市民
- 人数 延べ118人
- 費用 無料

## ②公民館スマホ教室～音声検索や地図アプリを使って場所の検索などを学ぶ体験編～

---

- 日 時 令和7年5月16日(金)、7月11日(金)、9月12日(金)、  
11月14日(金)、令和8年1月16日(金)、3月13日(金)  
各日14:00～16:00
- 場 所 永山公民館 視聴覚室
- 内 容 基本操作の技術指導、音声検索、地図検索など
- 講 師 松井 貴光 氏、室井 里加子 氏(ドコモショップグリナード永山店)
- 対 象 市内在住・在勤者
- 人 数 延べ49人
- 費 用 無料

## ③東京都スマホ相談会(東京都事業 高齢者スマートフォン普及啓発事業)

---

- 内 容 スマートフォンの使い方や操作方法に関する疑問や不安解消のための個別相談会
- 講 師 東京都派遣講師
- 対 象 60歳以上の都民
- 費 用 無料

### <永山公民館(ギャラリー)>

---

- 日 時 令和7年6月13日(金)、10月10日(金)、12月12日(金)  
各日10:00～12:00、13:00～16:00(2部制)
- 人 数 延べ60人

### <関戸公民館(創作室)>

---

- 日 時 令和7年7月11日(金)、9月12日(金)、11月7日(金)、  
令和8年1月16日(金)、3月13日(金)  
各日10:00～12:00、13:00～16:00(2部制)
- 人 数 延べ98人
- まとめ 一部講座においてはボランティアの対応が参加者から好評で、複数回参加している参加者も目立った。個人の疑問や悩みを解消する相談会、テーマ別セミナー形式で行う講座と、異なる形式で事業を実施していることも参加者獲得につながった要因の1つと考えられる。市内各公共施設で同様の事業が実施され

ているが、居住地に近く、高齢者が気軽に参加できる事業として引き続き実施していきたい。



↑スマホサロン(関戸)



↑スマホ教室(永山)

### 【戦後80年公民館事業】時代をつなぐ記録づくりプロジェクト

～「聞き書き」でつなぐ「戦争体験」～

- 目的 戦後80年の節目に、「聞き書き」という手法で多摩に在住する方の戦争体験を聞き書きし、記録に残して次代につなげるきっかけとして実施する。
- 日時 ①令和7年9月14日(日) ②10月5日(日) ③11月30日(日)  
④12月14日(日) ⑤令和8年1月11日(日)  
各日13:00～15:00  
この他、聞き書き活動のインタビューを随時
- 場所 ①パルテノン多摩 ②～⑤永山公民館集会室
- 内容 ①「聞き書き」をしていくにあたって、戦争時代の(多摩の)背景を学ぶ事前学習:パルテノン多摩企画展「戦争と多摩の人々」を鑑賞しながらレクチャー学習。  
②「聞き書き概論」  
③ゲストを迎えて「聞き書き」実践  
④行ってきた「聞き書き」のまとめ  
この他、戦争体験の話し手へのインタビューを随時実施し、「聞き書き」の手法を活用した戦争体験の冊子を編纂。
- 講師 ①橋場万里子 氏(多摩市文化振興財団 学芸員)  
②～④平尾一彦 氏(ボランティア TAMA 聞き書き隊代表、日本聞き書き学校認定講師、上智大学グリーンケア研究所認定臨床傾聴士)他3名  
戦争体験の話し手:4名
- 人数 聞き書き講座参加者:延べ37人
- 費用 無料
- まとめ 有意義な活動を実践している市民団体自体のPRや活動の広がりを得られるきっかけとなった。また、戦争体験の話し手の体験を、学術・文化的記録として残す機会となった。

## 3 事業の記録

### 4. 地域活性化事業

#### 第26回 永山フェスティバル

- 目的 永山駅周辺の活性化と地域住民、市民団体等の交流促進や施設間同士の連携、元気な街づくりを目的に、永山公民館と永山駅に隣接する商業施設を会場として、市民・行政・民間事業者の協働により実施する。
- 日時 令和7年9月20日(土)・21日(日)
- 場所 グリナード永山・ヒューマックスパビリオン永山・ベルブ永山等
- 内容 屋内外ステージでの音楽・舞踊などのパフォーマンス、ベルブ永山公民館内とグリナード永山での体験コーナーや展示・コンサート、模擬店など
- 人数 51,081人(各会場での来場者の延べ合計)
- まとめ 子どもから高齢者まで楽しめるプログラムが開催され、飲食については多くの団体が模擬店を出店し、イベントを盛り上げる一助となった。また、エコフレンドリー協力のもと、リユース食器の積極的な活用を呼び掛け、環境に配慮した飲食提供ができた。一方で、ベルブ・グリナード・ヒューマックスパビリオンの離れた3会場の一体感を表現することが難しく、引き続き今後に向けての課題として挙がっている。



#### 第4回 VITA ふれあいまつり

- 目的 関戸公民館が中心となり、多摩市や周辺地域で活動している市民・団体同士が、交流を通してネットワーク化を促進するとともに、それぞれの活動が発展する機会を創出し、聖蹟桜ヶ丘駅周辺の活性化に寄与することを目的に開催する。
- 日時 令和8年2月8日(日) 10:00~18:00
- 場所 関戸公民館、ヴィータ・コミュニェさくら広場
- 人数 参加団体:延べ51団体  
来場者数:延べ1,887人
- 費用 無料
- まとめ 市民ロビーでの合唱や器楽演奏、ホールでの演劇やダンスパフォーマンス、むかし遊び体験などのワークショップなど、51団体が参加し、様々な企画を実施した。今年度は昨年比で1か月前倒しで団体募集、全体実行委員会開催、PRを実施した。そのため、昨年より多くの団体が催しの実施側として参加した。当日は、あいにくの雪模様であり、来場者は昨年より少なかったが、事前PRを強化したこともあり体験会、遊び場はにぎわいを見せていた。



## 地域イベント協力事業

- 目的 各公民館の周辺地区の活性化を図る事業を、関係所管・団体、民間商業施設、市民団体等との協働により実施することで、まちの賑わいととも地域づくりに寄与することを目的に諸事業を実施する。

### ①第44回せいせき桜まつり協力企画【関戸公民館】

- 日時 令和7年4月6日(日)

- 内容 下表のとおり

場所	内容	出演・協力	人数
市民ロビー	音楽の玉手箱～身近なクラシックを楽しもう～	スタジオアデリーの仲間たち	128人
市民ロビー	おもちゃ病院	おもちゃ病院 kebo	13件
大会議室	さくら寄席	多摩落語寝床の会	65人
茶室	茶室見学	多摩市茶道連盟	23人

- 対象 市民一般

- 費用 無料

- まとめ 令和6年度と比較して参加者数はロビーコンサートを除き、3～4割減したものの、地域の活性化と公民館の周知を目的として、不特定多数の方を対象に気軽に来ていただけるような内容の事業を実施できたため、事業の目標は達成できたものと考えている。



### ②せいせき朝顔市協力企画【関戸公民館】

- 日時 令和7年7月5日(土)、6日(日)

- 内容 下表のとおり

○ 7月5日(土)

場所	内容	出演・協力	人数
大会議室	朝顔寄席	多摩落語寝床の会	65人
ギャラリー	TAMA フレイル防止プロジェクト	多摩市茶道連盟	23人

○ 7月6日(日)

場所	内容	出演・協力	人数
ヴィータホール	オールディーズライブ	ザ・ドロシーズ	190人
市民ロビー	おもちゃ病院	おもちゃ病院 kebo	34件

■ 対象 市民一般

■ 費用 無料

■ まとめ 恒例になっているオールディーズライブは、リピーターにも支えられ好評。新規来場者もあり、継続実施を望む声も多い。一方、寄席に関しては気温が34℃を超える程の暑さであったためか、来場者は前年比40%減であったが、アンケートによる満足度は高かった。また、今年度は高齢支援課との共同事業(フレイル予防)も実施した。



## 施設等活用事業

### 関戸公民館市民ロビー等活用事業

■ 目的 市民団体等が主体となって実施するコンサートや催事を通して、聖蹟桜ヶ丘周辺地域の賑わいづくりや地域活性化、関戸公民館の認知度向上、市民ロビーの有効的な活用の促進に寄与するとともに、来館者の学習機会及び学習活動の充実を図ることを目的として実施。(一部公民館主催事業あり)

■ 日時 内容のとおり

■ 場所 市民ロビー

■ 内容 下表のとおり

日 程	内 容	人数
5月5日(月祝)～6日(火祝)	プラレール・塗り絵などの体験、持ち込んだ車両の走行(ぶらとれ)	50人
7月20日(日)	ロビーコンサート(ブーケ・ド・トーン)	31人
7月25日(金)	ロビーコンサート(☆レイドバック☆)	90人
8月8日(金)	ワールドキャンパスインターナショナル in 多摩	90人
8月24日(日)	ロビーコンサート(コピヌ)	60人
10月12日(日)	ロビーコンサート(まーがれっと)	120人
10月26日(日)	外国人による日本語スピーチ発表会((一社)TIC)	100人
10月30日(木)～11月2日(日)	和紙人形展示(多摩市和紙人形連盟)	350人
11月16日(日)	ロビーコンサート(たまたま奏でる繋がるプロジェクト)	50人
12月10日(水)	ロビーコンサート(かえでスパンキーズ)	35人
12月21日(土)	ロビーコンサート(多摩テュッティ弦楽合奏団)	160人
2月13日(金)	ロビーコンサート(音喜多 紀義)	35人
3月6日(金)～7日(土)	星宇宙ミーティング(公民館主催)	90人
3月13日(金)	きて！みて！つながって！たまボラ・テラス～多摩ボラセンのボランティア見本市～(多摩ボランティア・市民活動支援センター)	189人
3月22日(日)	ロビーコンサート(東京薬科大学合唱団)	60人

■ 対 象 どなたでも

■ 費 用 無料

■ まとめ 令和7年度は、市民団体等との協働事業ならびに市主催事業の計15事業を実施した。協働事業実施では、市民団体等と積極的にコミュニケーションをとり、可能な限り実施につなげていくことで、多くの団体と共に市民ロビー活用の機会を創出し、公民館の賑わいづくりや周知につなげていった。



←市主催事業(星宇宙ミーティング[スターライトコンサート])

【昭和100年公民館事業 関戸編】「JAZZレコードを公民館ホールで聴く  
～みんなに聞いて欲しいこの1曲、この想い～ジャズ喫茶 VITA へようこそ」

- 目的 昭和とほぼ同年代のジャズ(ジャズというジャンルが録音されて108年)のレコードを持ち寄り鑑賞することを通じ、同好の士とのつながりを広げることで、地域のコミュニティづくりのシーズが生まれることを目的に開催する。
- 日時 令和8年1月12日(月・祝) 13:00～15:00
- 場所 関戸公民館ヴィータホール
- 内容 ①「昭和時代」に発表・演奏された楽曲、活躍したジャズミュージシャンの楽曲で、「アナログレコード(日本・海外問わず)」を持参。応募者は1～2分程度、楽曲に込められた思いを発表。  
②ジャズ鑑賞会マイルスからも2～3曲程度  
※ジャズ喫茶とあるが、飲食は伴わずに実施
- 協力 ジャズ鑑賞会マイルス(市民サークル)：レコードの提供  
ティアック株式会社：レコードプレーヤー及びアンプ等の無償貸与
- 対象 市民一般、興味のある方どなたでも
- 人数 100人 (レコード持参:9人、鑑賞のみ:91人)
- 費用 無料
- まとめ レコード提供者は9名、後半はジャズ鑑賞会マイルス会長より「ジャズ喫茶でよくかけられていたナンバー」を解説付きで鑑賞した。  
アンケート結果では、事業内容に満足・やや満足が78%、同様の事業にぜひ参加したい・まあ参加したいが91%、初めて来館した方が26%であった。鑑賞終了後も来場者同士の交流が生まれたことにより、マイルスへの加入者やWhat's JAZZ 実行委員会への参加者が増えた。



【昭和100年公民館事業 永山編】「昭和歌謡を公民館ホールで聴く  
～昭和思い出のレコード鑑賞サロン～」

- 目的 昭和時代に聴いたレコード盤が自宅に眠ってしまっている方に、それぞれの曲にまつわる思い出とともに、レコード盤を持ち寄っていただき、ホールで鑑賞する。時代の流れとともに、過ぎ去ってしまった個々の人生の軌跡をたどることで、同じ年代の人たちの思いを音楽を通して共有できる場とする。
- 日時 令和8年1月30日(金)、2月26日(木)、3月20日(金・祝)  
各日 13:00～15:00
- 場所 永山公民館ベルブホール
- 内容 「昭和」の思い出あるレコード盤をお持ちの方を募集。  
応募された方には当日持ち込みの上、全員で鑑賞を行った。その後リクエスト用紙に記載してもらい、リクエスト用紙に書かれた内容を読み上げることで、その曲にちなんだ活動の思いを共有した。
- 協力 ティアック株式会社：レコードプレーヤー及びアンプ等の貸与、当日の操作、解説など
- 対象 市民一般、興味のある方どなたでも
- 人数 延べ120人
- 費用 無料
- まとめ 昭和歌謡を愛する人が多いことが、アンケートでも伺われた。また、今回レコードプレーヤー機器の貸与や操作等、ティアック株式会社の全面協力のもと実施できたことにより、自宅とは異なる、ホールの音響効果を活かした鑑賞機会を提供することができた。3回目には、リクエストや持ち込みの数が多くなり、反響の大きさを垣間見ることができた。また、同じ音楽、他の方が好きな音楽を自分ひとりではなく、「たくさんの人と、一緒に聴けたことが良かった」と、同じ空間で音楽を鑑賞できた喜びも大きかったことが伺える。



## お正月デジログ運動会 ～デジタルゲーム×アナログゲーム～

- 目的 それぞれの世代がなじみやすい「あそび」を組み合わせ、参加者間の交流・つながりをつくり、コミュニティの形成を促すことを目的に本事業を実施する。
- 日時 令和8年1月6日(火) 14:00～16:00(前後30分は自由解放)
- 場所 からきだ菖蒲館ホール、唐木田児童館遊戯室
- 内容 マリオパーティ、カードゲーム(ワードスナイパーキッズ)、体育遊び
  
- 講師 カードゲーム：笠嶋 博子 氏(おもちゃコンサルタント)  
体育遊び：唐木田児童館職員  
その他大学生実習生1名、高校生ボランティア3名
- 対象 どなたでも
- 人数 29人
- 費用 無料
- まとめ 今年で3年目となるデジログ運動会は、各地区での事業展開を見据え、公民館から外へ出て地域のコミュニティセンターでの実施だったが、児童館や地域講師、学生ボランティアの協力のもと大盛り上がりでイベントを実施することができた。世代を飛び越え分け隔てなく楽しむ時間を作れた。



# 3

## 事業の記録

### 5. 市民文化活動支援事業

#### サロンライトコンサート

- 目的 地域で気軽に生の音楽を演奏、鑑賞する機会を提供し、市民の文化余暇活動発展、心身の健康増進の一助となることを目的として実施する。
- 日時 ①スペシャルコンサート：令和7年5月24日(土) 14:00~15:30  
②定例コンサート：令和7年6月~令和8年3月の毎月第2土曜日  
15:00~16:15
- 場所 永山公民館 ベルブホール
- 内容 ①スペシャルコンサート:年に1回プロ奏者を招いたコンサートを開催。定例コンサートの周知、集客に繋げた。  
出演者:城所 素雅 氏 (ヴァイオリン奏者)  
原嶋 唯 氏 (ピアニスト)  
②定例コンサート:全9回/各回35分×2団体
- 出演者 市内外団体または個人(応募により決定)
- 対象 市内在住者優先(未就学児不可)
- 人数 来場者=1,185人(①158人 ②1,027人)  
出演団体数=18団体
- 費用 無料
- まとめ 毎回多くの来場者があり、コンサートを楽しみにしている市民が多いことがうかがえた。  
演奏者はセミプロからサークル活動を行っている市民まで、レベルを含め様々であるが、出演者側からも、観客が温かく良い雰囲気でのコンサートであるとの感想をいただいている。地域で気軽に楽しめるアットホームなコンサートとして次年度以降も引き続き開催していきたい。



## 第35回映画祭 TAMA CINEMA FORUM

- 目的 映画ファンを中心とした市民ボランティアによるTAMA映画フォーラム実行委員会  
が主催している「映画祭 TAMA CINEMA FORUM」を、継続して支援していく  
ことで、市民の参加を促し交流が広がり、多摩市の映像文化の発展とともに、ま  
ちづくりに寄与することを目的として実施する。
- 日時 ① 映画祭:令和7年11月8日(土)~11日(火)、15日(土)~16日(日)、22日  
(土)~24日(月・祝)  
② 特別上映会:令和7年2月15日(土)、3月15日(土)、5月3日(土・祝)、6  
月14日(土)、7月19日(土)、8月23日(土) 全6回
- 場所 ①映画祭 : 永山公民館ベルブホール、関戸公民館ヴィータホール、  
パルテノン多摩  
②特別上映会 : 永山公民館ベルブホール
- 対象 どなたでも
- 人数 ①映画祭 : 12,492人  
②特別上映会 : 延べ1,370人  
令和7年2月15日(土)262人、3月15日(土)369人、5月3日(土・祝)153人  
6月14日(土)332人、7月19日(土)114人、8月23日(土)140人
- 費用 各回の入場料設定あり
- まとめ 映画祭本祭は今年度で第35回を迎えることができた。そこで記念事業として大フ  
ァミリーデーの開催と記念小冊子を作成した。支援会員や実行委員会委員も年々  
増えたことで、映画祭に対する関心度が伺える。委員が増えていることで、本祭だ  
けでなく、特別上映会での作品選定にもこれまで以上に幅の広い選定ができてい  
る。規模が大きくなってきていることから、多摩市のシティセールスとして地域力向  
上並びに、日常生活の中で映画文化の広がりとともに、憩いの場づくりに寄与して  
いくため、今後も公民館で支援していく。



## 多摩演劇フェスティバル

■ 目的 市民主体の実行委員会が自ら企画・公演する演劇事業を支援し、広く市民に周知することで鑑賞を通じて楽しんでもらい、事業への理解を深めること及び各劇団の更なる発展を目的として実施する。

■ 内容 下表のとおり

日程	公演劇団・演目	公演場所	人数
6月14日(土)、15日(日)	劇団ドラマ館 朗読公演2025 『太宰治を読む、母と暮らせばを読む』	関戸公民館大会議室	234人
7月19日(土)、20日(日)	不等辺さんかく劇団プロデュース公演2025 『よそびと診療所』	関戸公民館 ヴィータホール	443人
8月30日(土)、31日(日)	帝京大学演劇部ヴィクセンズシアターVOL.127 『愛国の怪物』	関戸公民館 ヴィータホール	84人
10月18日(土)、19日(日)	市民劇場TAMA第55回公演 『たまたまロミオとサム・ゲタン』	関戸公民館 ヴィータホール	281人
11月29日(土)、30日(日)	劇団古田工務店 『ずっとこけドクター危機一髪』	関戸公民館ギャラリー	194人
1月24日(土)、25日(日)	お芝居の工房ちやとらん 『モモ』	関戸公民館 ヴィータホール	290人
2月28日(土)、3月1日(日)	TAGWEAP(帝京大学 アクションクラブ) 2025年度定期公演『泥中に咲け。』	永山公民館 ヘルプホール	143人
3月28日(土)、29日(日)	劇団 MarchWind 第11回公演 『評決』	関戸公民館 ヴィータホール	160人
合計			1829人

■ 対象 どなたでも

■ 費用 各回の入場料設定あり

■ まとめ 実行委員会形式で、年間を通じて8公演実施した。どの公演も劇団員は充実した表情で 設営から本番に至るまで取り組んでいた。今後も公民館では実行委員会の主体性を尊重しながら、関わっていく。



## ヴィータ・コンサート

- 目的 地域で音楽活動している団体・個人、これから活動しようとしている音楽家に演奏の場を提供し、良質な音楽事業を展開するとともに、幅広い年齢の市民の方に気軽に音楽を楽しんでいただく機会を提供する。  
また、本事業は市民主体の実行委員会が企画及び運営を行うことにより、市民の自主的な企画制作、運営などの機会を促し、市民団体育成にも寄与することを目指し実施する。
- 日時 原則、隔月第4金曜日 14:00～16:00
- 場所 関戸公民館ヴィータホール
- 内容 下表のとおり

日程	出演者	演目	人数
4月25日(金) 14:00～16:00	有山 志音(ヴィオラ) 大森 茉莉衣(ピアノ) 山田 慧(チェロ)	様々な編成で楽しむヴィオラコンサート	134人
6月27日(金) 14:00～16:00	オールドスターズ	懐かしのGS・オールディーズ・ベンチャーズ	236人
8月22日(金) 14:00～16:00	羽子岡 智美(ヴァイオリン) 物井 彩(ピアノ)	ヴァイオリン名曲コンサート ～気軽に楽しめるクラシック～	160人
10月24日(金) 17:30～19:30	オペラ愛好家集団 Ciao!(チャオ!)	ラブ・コメディ オペラ「ドン・パスクワレ」ハイライト(原語上演)～芝居仕立ての解説付き！わかって楽しむオペラのひとつとき～	76人
12月19日(金) 14:00～16:00	武山 茂	ウクレレソロコンサート	155人
2月27日(金) 18:00～20:00	たまたま奏でる繋がるプロジェクト	たまたま奏でる繋がるプロジェクトスーパーライブ！～昭和歌謡・JAZZ・ビートルズ・・・多摩川が聴いている 珠玉の音色～	88人
合計			849人

- 対象 出演者＝市内外団体または個人(応募により決定)、来場者＝どなたでも
- 費用 無料
- まとめ 実行委員会と協力しながら、隔月で様々なジャンル(クラシック、オペラ、バンド、ソロウクレレ等)のコンサートを行うことが出来た。  
出演者との打合せや当日の役割分担、令和8年度の出演者の公募・決定など市民実行委員会と一緒にすることが出来た。来年度以降も引き続き、実行委員会と協力しながら、様々なジャンルのコンサートを行っていくことで、市民に身近な施設で音楽に親しんでいただく機会を提供していく。



## ジャズへの招待 What's JAZZ

- 目的 ジャズの歴史や音楽に関する知識を学ぶとともに、プロによる演奏を鑑賞する機会を通して、市民の文化・芸術に関する学習活動に寄与することを目的に実施。また、本事業は市民主体の実行委員会が企画及び運営を行うことにより、市民の自主的な企画制作、運営などの機会を促し、市民団体育成にも寄与することを目指す。
- 場所 関戸公民館ヴィータホール
- 内容 下表のとおり

日時	演目	人数
6月13日(金) ①13:00 ②16:00	ジャズへの招待 vol.72 (華麗なるジャズピアノの世界)	228人
9月12日(金) ①13:00 ②16:00	ジャズへの招待 vol.73 (魅惑のトランペット)	241人
12月12日(金) ①13:00 ②16:00	ジャズへの招待 vol.74 (大人のためのクリスマスコンサート)	242人
3月13日(金) ①13:00 ②16:00	ジャズへの招待 vol.75 (春のHappy JAZZまつり)	201人
計		912人

- 対象 どなたでも
- 費用 各回の入場料設定あり
- 出演者 スインギー奥田氏(ドラマー・音楽プロデューサー)ほか
- まとめ 本事業は関戸公民館で実施した JAZZ をテーマにした講座をきっかけに、2005年から実行委員会形式で長年開催し続けており、まさに市民同士が「つどい」「まなび」「むすびついた」事業である。実行委員会の世代交代・なり手不足について、持続可能な運営の可能性や今後のあり方について実行委員会と共に検討していく必要がある。



# 3

## 事業の記録

### 6. 情報発信事業

#### 公民館通信「たのしいまち」の発行

- 目的 市民と公民館、市民と市民をつなぐ架け橋として地域の情報を取り上げて取材・インタビューしている。編集には、市民編集委員とともに、市民目線に立ち読み物として読みやすく、楽しい紙面づくりを目標に継続した発行をしていくことを目指す。
- 日時 公民館通信の発行:通年(年6回隔月発行)  
編集会議:月2回程度(取材を含む)
- 内容 各号、編集会議にて、その時々々のタイムリーな話題などを取り上げ、実際に現地や講座などに出むいてその様子を広く紙面で提供
- 発行数 12,000部(各号2,000部×6回分)
- まとめ 公民館の施設・事業紹介等を通じて、公民館のPRに努めた。市民編集委員執筆のポートや、インタビュー記事は、読者の興味を引き立てるような紙面校正や紙面になるよう編集委員とともに、工夫した。市民編集委員の人材不足と継続が課題となっている。



#### 広報・公式ホームページ等での情報提供

- 内容/まとめ 事業案内・募集などの情報を広く周知するため、たま広報や公式ホームページ、公式SNSで発信している。このほか独自の広報紙として「永山公民館からのご案内」「関戸公民館からのお知らせ」をそれぞれ年12回発行。市内公共施設に配架。このことにより事業の集客・来館に結び付けた。

#### サークル紹介カード

- 内容/まとめ 公民館施設利用団体の活動支援の一環として実施。公民館サークル紹介カード(サークル名、連絡先、活動日・場所、サークルPR等)により掲示および問合せの対応を行った。活動を希望する方へ、即自に情報提供をすることができた。  
<掲載団体数> 永山公民館：62団体 関戸公民館：34団体

# 3

## 事業の記録

### 7. その他連携等事業

#### 日野市・多摩市の「多様な学びの場構築連携事業」 ひのたま ULTLA プログラム

■ 目的 東京都市長会の「多摩・島しょ広域連携活動助成事業」の助成金の採択を受け、学校生活や学習になじみにくさを感じている子どもたちが自分自身を掴み、その能力を発揮できる学びの場づくりにより市民暮らしを豊かにする事業を日野市と連携して実施する。

■ 内容 下表のとおり

#### ●ひのたま ULTLA 「あそび」のプログラム

「木と気」をテーマに、目に見える木と目に見えない気を、街・川・森といったフィールドで五感を使って感じる体験を行った。また、身体を通して自分の内側にある気に意識を向ける活動を取り入れた。最終日には、ナビゲーターおよび保護者を含め、焚き火を囲みながら“気”を共有する時間を設けた。

日時	内容	場所
11月9日(日) 10:00~16:00	「自分学入門」 「街の中の『気』をキャッチできるか？」 「木の香り、いただきます」 「気流に乗って多摩と日野をつなごう」	多摩市(関戸公民館・多摩川周辺)
11月16日(日) 10:00~16:00	「仲田の森蚕糸公園のルーツを探ろう」「桑の木が生糸にへーんしん!？」 「五感で味わう、秋の気配!」 「草木の色をまとってみよう」	日野市(仲田の森蚕糸公園)
11月23日(日) 13:00~16:00	「気の向くままに、森の賢者へ」 「ゆらめく火と、魂でダンスしよう」	多摩市(大谷戸公園)

#### ●インパクトデイ(成果報告会)

「ひのたま ULTLA プログラム」に参加した児童生徒と保護者、一緒に作り上げたフレンズ、そして会場に集まった関係者が「ひのたま ULTLA プログラム」での学びを共有し、それぞれの次のステージへと進めるインパクトを生み出す日として開催。

日時	内容	場所
2月21日(土) 18:30~20:30	オープニング~「ひのたま ULTLA ってどんなもの?」、 「ULTLA の誕生と広がり」、 「あそびのプログラム、どんなだった?」 参加者との保護者の感想照会、ULTLA フレンズからのメッセージ、 センパイトーク(ゲスト:高梨 智樹 氏(ドローンパイロット))、 パネルディスカッション(飯倉 直子 氏(日野市生涯学習担当参事)、千葉 正法(多摩市教育長))	関戸公民館ヴィータホール

■ 講師 ULTLA フレンズ:地域で子どもたちと関わる活動をしている方々や、各プログラムの専門家が、子どもたちと一緒に寄り添うファシリテーターや知識・技術を教えるナ

ビゲーターとして参加。(全 20 名)

- 対 象 主に学校生活や学習に「何となくなじめない」と感じている小学4年生～中学3年生
- 人 数 ●ひのたま ULTLA 「あそび」のプログラム 10 人  
●インパクトデイ(成果報告会) 23 人
- 費 用 昼食代 500 円
- まとめ 初年度実施ということもあり参加者は少なかったが、アンケート結果によれば、「また受けてみたいと思った・参加してよかった」と思った児童が 100%、「参加して子どもに変化を感じた」と思う親は 100%と、充実した体験や変化の機会を提供することができた。インパクトデイは会場実施に加え、当日の内容を紹介用の動画としてまとめることにより、本事業への理解を深める機会へとつなげていく。  
令和 8 年度はリサーチラボ(検討会議)で出た課題を踏まえ、令和 9 年度につながるプログラムを企画・実施する。



#### 都民寄席

- 目 的 東京都との連携により都民寄席を実施し、市民及び近隣の都民の文化イベントを実施する。
- 日 時 令和 8 年 2 月 14 日(土) 13:30～15:15
- 場 所 関戸公民館ヴィータホール
- 出演者 開口一番(手紙無筆)、和田尚久(解説)、春風亭柳枝(雛鰯)  
活動写真弁士 坂本頼光、春風亭柳橋(二番煎じ)
- 対 象 都民
- 人 数 162人
- 費 用 無料

- **まとめ** 本事業は東京都の「江戸東京伝統芸能祭」の一環として行われる事業であり、多摩公演は6.6倍の倍率であった。当日の来場者については、インフルエンザの再流行なども重なり、来場者数が比較的減少したものの、例年どおり市外からの来場者も多く、公民館の周知拡大に有効であったと考える。

#### テレビ朝日出前講座「災害報道とテレビ～命を守る防災情報の受け止め方～」

- **目的** 近年、日本各地で地震や大雨等の災害が多発している。その中で多摩市民としてどのような災害に備えるべきかを考え直してもらうことを期待する。また、防災情報の基礎知識を学ぶことで一人でも多くの命を救う・守ることを期待する。
- **日時** 令和7年7月19日(土) 14:00～16:00
- **場所** 関戸公民館 大会議室
- **内容** 集中豪雨・地震など災害が他人ごとではない昨今、気象・地象の基本から災害報道の在り方、テレビが何を伝えるべきかについてわかりやすく説明していただいた。また、多摩市及び多摩地域の地盤や河川(土砂災害や氾濫水域)など地域に密着した課題も提示いただいた。
- **講師** 久慈 省平 氏(株式会社テレビ朝日 広報部 お客様フロント部 / 防災士)
- **対象** どなたでも
- **人数** 16名
- **費用** 無料
- **まとめ** 元報道局災害部長で防災士の講師の講演は、非常に具体的で災害報道の在り方や多摩地域の地盤・河川など多摩市の課題についても触れていただき、参加者のアンケートでは回答者全員が満足との回答を得た。一方、三連休初日に設定であったため、開催日への工夫が必要であった。



## わがまち学習講座

- 目的 地域活動の担い手となりうる次世代層をターゲットとして、市の現状の課題に触れ地域への関心をもってもらうことで、地域共生社会の実現を目指す事業を、文化・生涯学習推進課、協創推進室と3課連携で実施する。
- 日時 ① 令和8年1月24日(土) ② 2月15日(日) ③ 3月1日(日)  
各日13:30~16:30
- 場所 ①③関戸公民館 大会議室  
② 中央図書館 活動室1
- 内容 第1回 ~多摩市の魅力を語り合う~  
第2回 ~ターゲットを絞った魅力発信の検討とまち歩き~  
第3回 ~おすすめスポットの今昔写真でショート動画制作~
- 講師 合同会社 LOCUS BRIDGE  
エリアマネージャー 椎名 英治氏  
CMO 最高マーケティング責任者 業務執行社員 荒井 菜彩季 氏(第2回のみ)
- 対象 市内在住・在勤・在学の中学生~50代(現役世代)
- 人数 延べ21人
- 費用 無料
- まとめ 延べ21名の参加となったが、活発な意見交換ができる丁度よい規模であったとともに、大学生3名を含む若い世代も参加し、多世代の交流による満足度が高かった。また、講座参加後に、参加者の複数名が他の地域イベントやスポーツボランティアなど別の活動にも積極的に参加しているという報告もあり、地域活動に参加するきっかけとして寄与することができた。



わがまち学習講座連携企画 牧野篤氏講演会「地域とつながる“はじめの一步”～人生100年時代の“自分の活かし方”～」

- 目的 わがまち学習講座連携企画として、人生100年時代において、どの年代にも日々を充実させる“自分の活かし方”について学ぶきっかけとなる講演会を実施する。
- 日時 令和8年1月17日(土) 14:00～16:00
- 場所 パルテノン多摩 オープンスタジオ
- 内容 地域の面白さって何？自分の中にある興味関心の見つけ方とは？またその関心と地域とつながる方法とは？人生100年時代どの年代にも日々を充実させる“自分の活かし方”について学ぶきっかけとなる内容とした。
- 講師 牧野 篤 氏(東京大学名誉教授、大正大学 地域創生学部地域創生学科 教授)
- 対象 どなたでも
- 人数 30人
- 費用 無料
- まとめ 社会教育や生涯学習の第一人者ともいえる講師から、地域の様々な実例や理論をわかりやすく講義していただいたことにより、受講者の満足度は88%と非常に高かった。また、本講座をきっかけに、ボランティアを含めた活動に対する意欲が高まったこともアンケートから読み取ることができ、地域活動への参加の関心度の向上を図れたと考えられる。



東京都 とうきょうこどもクリエイティブラボ (くりらぼ)

- 目的 東京都共催。今後のデジタル社会を担っていく小中学生が、誰でも気軽に、創造性を育むことができる「デジタル創作体験」の機会を広げることを目的に実施する。
- 日時 令和7年12月26日(金)、令和8年1月7日(水)  
両日 10:30～13:00、14:30～17:00 の2部制

- 場 所 関戸公民館 創作室
- 内 容 以下①②のいずれかから選択
  - ① 3Dプリンターを使って作品を作ろう！
  - ② Scratch を使ってオリジナルゲームを作ろう！

●1部

- 10:30～12:30＝体験事業(1テーブル5人×4卓)
- 12:30～12:50＝片づけ・成果物の持ち帰り作業(作業画面の写真撮影等)・保護者に今日の取り組みを伝える時間
- 12:50～13:00＝参加者お見送り

●2部

- 14:30～16:30＝体験事業(1テーブル5人×4卓)
- 16:30～16:50＝片づけ・成果物の持ち帰り作業(作業画面の写真撮影等)・保護者に今日の取り組みを伝える時間
- 16:50～17:00＝参加者お見送り

- 講 師 東京都委託事業者:株式会社リタリコ
- 対 象 都内在住・在学の小学生
- 人 数 延べ65人 ※各回定員:20人 ※申込者数:109人
- 費 用 無料
- まとめ 3年目となった今回、昨年度より実施回数を2回増やし、当日参加人数は3倍となった。申し込みも前年度の2倍の109名(延べ)であり、市民ニーズの高さが見受けられた。子どもの感想は「楽しかった。またやりたい」、「良い体験になった、有益、無料でありがたい」の声が多かった。



## 参加・体験・感動！ふれあいこどもまつり

■ 目的 東京都、(公財)東京都歴史文化財団、同実行委員会との共催事業。  
子どもたちが芸術についての理解を深め、表現や創造の素晴らしさを実感し、人間への興味を育て、文化を生み出す豊かな心と感性を育むことをめざして実施。区部や多摩地域において学校や児童館など子どもたちに身近な施設で芸術家と交流するアウトリーチ活動や、公立文化施設での舞台鑑賞や参加体験としてのワークショップ等を実施し、子どもたちが様々なジャンルの芸術に直接ふれる機会を提供する。

■ 日時 令和8年3月14日(土)・15日(日)

■ 場所 関戸公民館

■ 内容 下表のとおり

<公演>(4公演)

●3月14日(土)

上演時間	会場	団体名	作品名	参加者数
11:00~12:00	大会議室	人形劇団 ひぼぼたあむ	人形劇「ふたりのお話」	71人

●3月15日(日)

上演時間	会場	団体名	作品名	参加者数
10:30~11:20	大会議室	劇団 風の子	おおぐらんば!	70人
14:10~15:10	大会議室	ウリボ・はせ・カンパニー	アラマせんせいとげんごろうのこぼあそびのたび	91人
15:30~16:30	ヴィータホール	民族歌舞団 荒馬座	ふるさとまつり四季彩々	143人

<ワークショップ>(5回)

●3月14日(土)

上演時間	会場	団体名	作品名	参加者数
10:30~12:00	第3学習室	人形劇団 望ノ社	光と影で遊ぼう! 影絵体験ワークショップ	11人
13:00~14:30	大会議室	人形劇団 ひぼぼたあむ	だれも見なかったことのない生き物をつくろう	30人
14:00~15:30	ギャラリー	アートイン Asibina	モンダイもトラブルも エンゲキだったらこわくない?! 好評の「おもしろ問題解決レッスン!」シリーズ3	10人

●3月15日(日)

上演時間	会場	団体名	作品名	参加者数
10:30~12:00	第3学習室	グレゴの音楽一座	作って遊ぼう！タップダンス人形	15人
13:00~15:00	第3学習室	オールスタッフ/イツフォーリーズ	あそぼう！つくろう！ミュージカル♪	10人

#### <市民企画>

#### ●3月14日(土)・15日(日)

時間	会場	団体名	内容	参加者数
10:00~16:00	市民ロビー	多摩ボランティア・市民活動支援センター	(3月14日) こま、けん玉、お絵かき他	81人
		ほかボランティア	(3月15日) 塗り絵、折り紙、絵手紙、科学あそび、バルーンアート、こま、けん玉、皿回し、ポッチャ、読み聞かせ、エコベル演奏 他	116人

この他、1月から3月にかけて、アウトリーチ事業を14回実施(参加者数:延べ697人)

- 対象 3歳以上
- 人数 1,345人
- 費用 各公演別に入場料設定あり
- まとめ 舞台鑑賞やワークショップ、無料で楽しめる遊びの広場等を実施。子どもたちが様々なジャンルの芸術に直接触れる機会を提供した。

#### 事業者提案型講座

- 目的 地域・社会、日常生活における課題や文化や時事的テーマなどについて、民間企業が持つ専門的な知識やノウハウを市民へ提供してもらうことで市民の学びを豊かにするとともに、事業者の地域貢献活動を応援することを目的とする。(令和7年度は試行実施)
- 内容 下表のとおり

事業者名【講座名】	日程	場所	参加者数
三井住友信託銀行株式会社【老後を安心して過ごすために～これからできること、しておくべきこと～】	①10月28日 ②11月26日 ③12月18日	関戸公民館(大会議室)	71人
アクサ生命保険株式会社【人生100年時代を見据えたライフプランを考える】	①11月1日 ②11月15日 ③11月27日	永山公民館(視聴覚室 ほか)	24人
株式会社アシュリップ(カイロライン多摩・唐木田整体室)【一人でできるマッサージ講座】	①2月3日 ②2月9日 ③2月17日 ④2月24日 ⑤3月3日	関戸公民館(大会議室)	62人
株式会社ソニー生命保険株式会社【今から知っておくべき子育て講座】	①2月20日 ②2月27日 ③3月6日 ④3月13日	関戸公民館(第3学習 室ほか)	4人

- **まとめ** 受講者の満足度はいずれの講座も 68%～100%と高かった。一方、提案事業者が金融・生命保険会社が多く、講座内容も「終活」「相続」「ライフプラン」と重複したため、次年度以降は、「事業者需要と受講者のニーズのバランス」の分析や募集要領の再設計などを行いながら改善を図っていく。



### 中学校吹奏楽部支援事業

- **目的** 部活動の地域連携・地域移行などの課題に対し、吹奏楽部の活動支援として、試行的に市内中学校の吹奏楽部を対象として、What's JAZZの企画・出演のプロミュージシャンによるクリニックを実施する。
- **日時** 令和7年9月12日(金)、12月12日(金)、令和8年3月13日(金)  
18:00～19:00
- **場所** 関戸公民館ヴィータホール
- **内容** 課題曲を演奏しながら、楽しく演奏技術の向上を目指す。
- **講師** スインギー奥田(奥田 英人)氏  
(ドラマー、音楽プロデューサー、ビッグバンドバンドリーダー、吹奏楽等指導者)
- **対象** 市内中学校の吹奏楽部部員

- 人数 23人
- 費用 無料
- まとめ 試行実施として、市内の一部の中学校の吹奏楽部協力のもと実施。  
プロミュージシャンによる実践的な指導は、受講生の満足度が高く、再受講の要望も多かったため、一定の効果があったといえる。  
一方、部活動の現状・実態等について多くの課題があることもあらためて見えてきたため、次年度以降は、部活動を社会教育の分野から支援するあり方について、検討を進めていく。



#### こどものまちたま（チームミニたま共催）

- 目的 市民団体との共催。子どもたちだけで「仮想のまち」をつくり、まちの中での生活や運営のルール作りを通して、「自分たちで自由に考え、自主的にやってみること」「仲間との協力や衝突を通して人と繋がること」「自治の仕組みづくりに参加すること」を目的に実施する。
- 日時 令和8年3月21日(土)～25日(水) 各日10:00～16:30  
※最終日25日のみ、10:00～15:00
- 場所 関戸公民館ヴィータホール
- 対象 小学3年生～中学3年生
- 人数 延べ266人
- 費用 無料

- まとめ 職業体験イベントにとどまらず、「まちづくりへの参画」体験を促すための仕掛けとして、まちなかの課題について子どもたち同士で話し合い、解決策を考えるタウンミーティングなどを導入するなど、子どもたちが住民自治に関心を持つきっかけづくりにつながった。今年度は昨年度より2日間延長して5日間で実施し、最終日には子どもたちが自ら「こたまフェス」という地域振興イベントのような企画を行い実施するまでに至り、より深い「まちづくりへの参画」的な体験機会が生まれていた。



## 4

## 管理・運営

## 施設使用状況

## 1. 永山公民館

■開館日数： 平日=219日、土曜日=50日、日・休日=67日、休館日数=29日

施設	使用可能件数	一般	市役所関係	主催	計	使用率	使用人数
ベルブホール	1,008	351	124	117	592	58.7%	27,838
第1音楽室	1,008	852	22	13	887	88.0%	10,173
第2音楽室	1,008	688	6	11	705	69.9%	2,099
集会室	1,008	816	22	51	889	88.2%	13,744
学習室	1,008	752	11	17	780	77.4%	5,858
視聴覚室	1,008	570	60	45	675	67.0%	8,872
創作室	1,008	614	7	16	637	63.2%	4,556
和室	1,008	775	23	9	807	80.1%	4,713
第1保育室	1,008	28	7	85	120	11.9%	1,386
第2保育室	1,008	64	15	85	164	16.3%	1,568
ギャラリー	1,008	366	156	237	759	75.3%	-
計	11,088	5,876 (53.0%)	453 (4.1%)	686 (6.2%)	7,015	63.3%	80,807

## 2. 関戸公民館

■開館日数： 平日=222日、土曜日=51日、日・休日=66日、休館日数=26日

施設	使用可能件数	一般	市役所関係	主催	計	使用率	使用人数
ヴァイタホール	1,017	298	70	148	516	50.7%	25,802
第1学習室	1,017	366	108	100	574	56.4%	10,215
第2学習室	1,017	340	108	95	543	53.4%	9,752
(大会議室)	251	92	89	70	251	-	6,205
第3学習室	1,017	633	54	29	716	70.4%	7,909
和室1	1,017	475	24	21	520	51.1%	4,878
和室2	1,017	444	26	19	489	48.1%	3,943
茶室	1,017	280	6	13	299	29.4%	1,398
創作室	1,017	515	13	62	590	58.0%	5,968
スタジオ	1,017	819	0	12	831	81.7%	7,403

保育室	1,017	74	20	71	165	16.2%	850
ギャラリー	1,017	213	162	96	471	46.3%	-
計	11,187	4,457 (39.8%)	591 (5.3%)	666 (6.0%)	5,714	51.1%	78,118

※大会議室は第1学習室・第2学習室での集計を再掲



## 令和7年度（2025年）公民館事業報告書

発行 多摩市立永山公民館  
〒206-0025 多摩市永山1-5  
TEL. 042-337-6661

多摩市立関戸公民館  
〒206-0011 多摩市関戸4-7-2  
TEL. 042-374-9711